

## 事務事業評価シート(平成22年度実績分)

### (1) 事務事業の名称・位置づけ【Plan1】

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
04103	妊婦乳児一般健康診査	保健福祉課	保健係	野澤 秀秋	河手 潤子
		一次評価年月日	平成 23 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2124・2125
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0414	町保健対策推進事業
		<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	#N/A	
		章 (コード選択)	(コード選択)	2章	安らぎとのおいのある社会
		節 (コード選択)	(コード選択)	2節	いきいきとした健康な暮らしを築く
	項[基本施策] (コード選択)	(コード選択)	222	母子保健事業の推進	
主な取り組み (コード選択)	(コード選択)	2223	妊婦乳児一般健康診査		
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始) H9 年度 ~ (終了予定)	年度	<input type="checkbox"/> 開始時期不明	<input type="checkbox"/> 終期設定なし	

### (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。【Plan2】

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

妊婦及び乳児(3～11ヶ月)

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

妊婦及び乳児の一般健康診査費用の負担軽減を図る。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	妊婦に対しては14回の一般健康診査費用を補助する。
2	乳児に対しては生後3～11ヶ月の間に1回分の一般健康診査費用を補助する。
3	
4	

### (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。【Do1】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)		
①	指標名	受診票の延べ発行数(妊婦)		件	3,048	3,265	3,388	0.96	3,265
	説明	受診票の延べ発行数(妊婦)		目標値設定の根拠	過去の実績よりの見込み				
②	指標名	受診票の延べ発行数(乳児)		件	146	130	133	0.98	130
	説明	受診票の延べ発行数(乳児)		目標値設定の根拠	過去の実績よりの見込み				

### (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。【Do2】

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度			
		21年度	22年度	22年度	達成率	22	年度(見込み)		
①	指標名	受診票の利用率(妊婦)		%	58	68	78	0.87	68
	説明	年間利用数/年間発行数		目標値設定の根拠	年度をまたいでの利用あり。過去の実績より見込む				
②	指標名	受診票の利用率(乳児)		%	28	19	21	0.90	19
	説明	年間利用数/年間発行数		目標値設定の根拠	年度をまたいでの利用あり。過去の実績より見込む				

### (5) 総事業費(コスト)の推移【Do3】

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字  按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度											
			決算	決算	決算	見込み											
対前年比		%		190.3	119.7	99.9											
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)				2,951	3,000	3,000											
B) 一般財源(税金)			5,967	8,404	10,596	10,578											
①事業費		(千円)	5,809	10,908	13,143	13,143											
対前年比		%		187.8	120.5	100											
②人件費の概算		(千円)	158	447	453	435											
対前年比		%		281.9	101.4	96											
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費						
			H21	H22	H23	H21	H22	H23	H20	H21	H22	H23					
町職員(正規職員)			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.07	0.07	0.07	0.07	158	447	453	435
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート									0	0	0	0		

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	A	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある C 今後も可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	A	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり D かなり余地あり
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	A	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり D かなり検討の余地あり
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している C 把握していない 受診券発行時に対象者への聞き取りをしている。他にもわくわく講座(両親学級)なども行っている。

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。)  を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する     イ. 見直しのうえで継続する     ウ. 終期設定     エ. 廃止     オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)  
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)  
 c 効率化を図る(コストを下げる)  
 d 縮小する(簡素化する)  
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

母子の経済的支援の強化を図り、平成22年より妊婦健診における補助回数を23回(内訳 基本検診14回 追加検診 5回 超音波検診 4回)とした。また年度中途から新たにHTLV-1抗体検査も助成対象として追加した。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

平成23年からは補助回数は変わらないが、追加検査項目の中にHTLV-1抗体検査とクラミジア検査を追加する。1人当たり2,790円の増額

23年度予算見積書への反映  あり  なし

[反映内容]

HTLV-1抗体検査とクラミジア検査の追加。  
1人当たり2,790円の増額

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

妊婦・乳児の検診は少子化対策の一環からも重要であり、妊婦検診については補助回数を増やし実施。今後も充実した検診となるよう内容など検討する中で進める。

上位の施策の推進に貢献していますか。  をチェック

- A. 貢献度 大     D. 上位施策なし  
 B. 貢献度 中  
 C. 貢献度 小

(今後の方向性  を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持     イ. 見直しのうえで継続する     ウ. 終期設定     エ. 廃止     オ. 休止



上記 a~e を選択